

4 知識の習得を重視した 通常の科目における取組

4. 知識の習得を重視した通常の科目における取組

(1) 社会人基礎力の育成手法について

① 教育プログラムの設計

i) 教育目標・位置付け

この科目は経営学部1年次生全員を対象にした経営学部の専門科目で、経営学に関する基本的な英語の学習を通して、社会人基礎力のうち「前に踏み出す力」の育成を主な目的に置き、特に、物事に進んで取り組む姿勢を身につけることを目標にしている。

ii) プログラム形態

科目名：外書セミナー（経営学部教授 後藤文彦担当クラス）

クラス形態：約25名のゼミ形式のクラス

授業回数：秋学期15週、週1回

単 位：2単位

iii) 与えられる課題

課題は担当教員が設定し、クラスの出来上がり具合に応じて、下記のような段階を踏んだ。

◇ステージ1：

クラス・ビルディングをメインにしたゲーム。席順やチームのメンバーはランダムに毎週変えた。

◇ステージ2：

チーム・ビルディングをメインにして、5名程度のチームに分かれて英語のクロス・ワード・パズル（VOAのSpecial English）を解いた。チームのメンバーはランダムに毎週変えた。

◇ステージ3：

チームに分かれて、経営学でよく使われる用語を英英辞書から選択して文脈に合った日本語に直した。英英辞書には、VOAのSpecial EnglishにあるOur Word Bookが用いられた。チームのメンバーはランダムに毎週変えた。

4. 知識の習得を重視した通常の科目における取組

iv) プログラム構成

日 程	授 業 中 の 活 動	育 成 す る 能 力 要 素
10 月 2 日	〈 ステージ 1 〉 ペア紹介、共通項探しゲーム	主体性、働きかけ力、実行力、発信力、傾聴力
10 月 9 日	〈 ステージ 1 〉 ワクワク・トーク（注 1）、ゴールセッティングシート（注 2）、事前自己評価、「大人との関係性を広げることに対する考え方」に関する意見交換（グループ）	主体性、働きかけ力、実行力、発信力、傾聴力
10 月 16 日	〈 ステージ 1 〉 ワクワク・トーク、ゴールセッティングシート、野球選手 9 名のポジションは？	主体性、働きかけ力、実行力、課題発見力、計画力、創造力、発信力、傾聴力
10 月 23 日	〈 ステージ 2 〉 ワクワク・トーク、ゴールセッティングシート、クロス・ワード・パズル	主体性、働きかけ力、実行力、課題発見力、計画力、創造力、発信力、傾聴力
10 月 30 日	同 上	同 上
11 月 6 日	同 上	同 上
11 月 13 日	同 上	同 上
11 月 20 日	〈 ステージ 2 〉 ワクワク・トーク、ゴールセッティングシート、クロス・ワード・パズル、中間自己評価	同 上
11 月 27 日	〈 ステージ 3 〉 ワクワク・トーク、ゴールセッティングシート、経営学でよく使われる英単語の日本語訳	同 上
12 月 4 日	同 上	同 上
12 月 11 日	同 上	同 上
12 月 18 日	同 上	同 上
1 月 8 日	同 上	同 上
1 月 15 日	同 上	同 上
1 月 22 日	ワクワク・トーク、事後振り返り、事後自己評価	同 上
（注 1）席順にペアを組んで、過ぎた 1 週間の楽しくてワクワクした出来事を相互に 3 分間ずつ話し合う。これは、授業開始にあたってのアイスブレイクと傾聴訓練とを兼ねている。 （注 2）資料 2－①・②		

v) チーム編成

- ◇ 学生の募集方法、参加学生の所属（学部・学年・学科等）及び人数
経営学部 1 年次生全員を 1 クラス約 25 名に分け、経営学部所属教員に割り当てた。

vi) 教職役割分担

通常の授業を実施するクラスなので、担当教員は通常の授業と同様 1 名である。

② プログラムの運用

i) 授業や活動等における工夫

1. 課題解決、チームワーク、コーチング・ファシリテーションの 3 つを教育の柱に据えた。
2. 1 年次生であるうえに、お仕着せのクラスなので、必ずしも、意識の高い学生が揃っているわけではない。したがって、特に、チーム・ビルディングとクラスの雰囲気醸成とに気を配った。

ii) 支援員（教職員、企業人等）によるファシリテート

特にない。

③ 育成手法の反省事項と改善策

受講生の社会人基礎力は確実に育成されており、クラスの雰囲気も醸成されたが、朝 1 時限目に設定されているせいもあり、遅刻・欠席が少なからずみられた。止むを得ない遅刻・欠席は致し方ないにしても、もう少し自主的に出席するようになるための何らかの工夫が必要である。

（２）社会人基礎力の評価手法について

この取組では「３．実践型学習における取組」とは異なり、予算の関係もあり内面的評価は実施されなかった。

① レベル評価基準

この取組のレベル評価基準には、経済産業省のもの（経済産業省編著『今日から始める社会人基礎力の育成と評価』28 - 29 頁）をそのまま用いた。

② 評価実施要項

自己評価は本人の行動管理に有効であり、社会人基礎力育成に大きく貢献すると考えられるので、下に述べるような要領で、最大限に活用した。しかし、他者評価については、担当教員として観察は常にしているものの、その困難さや他者評価をされていること自体が学生の態度に与える影響に配慮し、実施はしなかった。

4. 知識の習得を重視した通常の科目における取組

i) 自己評価

◆評価の回数・時期

【 毎授業時に実施しているゴールセッティングとしての自己評価 】

- ・授業開始に当たって、その授業時間に意識して行動しようと思っている 12 要素に○印（複数可）を付けた。
- ・授業終了に当たって、全 12 要素について、その授業時間に発揮できた程度を各 5 点満点（12 要素全体で 60 点満点）で自己評価した。
- ・学生は、ゴールセッティングシートを授業終了時に担当教員に提出し、担当教員は必要に応じてコメントを付して翌週に返却した。

【 事前、中間、事後評価 】

- ・経済産業省のレベル評価基準を用いて、1 学期 15 週間の間に事前・中間・事後の自己評価を実施した。

（3）授業や活動の具体的記録

① 取組の実際の流れ

日 程	授 業 中 の 活 動	学 生 の 反 応	運 営 上 の 改 善 点
10 月 2 日	〈 ステージ 1 〉 ペア紹介、共通項探しゲーム	単なる自己紹介の場合に比べて、学生の気持ちがほぐれている様子が見える。	ペア紹介や共通項探しゲーム用のシートを用意した。
10 月 9 日	〈 ステージ 1 〉 ワクワク・トーク、ゴールセッティングシート、事前自己評価、「大人との関係性を広げることに対する考え方」に関するグループ・ディスカッション	2 回目の授業でのグループ・ディスカッションであったが、予想以上に活発に進行した。ゴールセッティングシートには、見知らぬ同士で意見交換できた喜びの記述がみられる。	
10 月 16 日	〈 ステージ 1 〉 ワクワク・トーク、ゴールセッティングシート、野球選手 9 名のポジションは？	ゴールセッティングシートには、グループ・メンバーとアイディアを交換しながら正解に近付いて行く様子が生き生きと記されている。	
10 月 23 日	〈 ステージ 2 〉 ワクワク・トーク、ゴールセッティングシート、クロス・ワード・パズル	〈 ステージ 2 〉に進む。パズルの答えを見つけた喜びがゴールセッティングシートに記されており、英語に対する苦手意識を感じさせない。	
10 月 30 日	同 上	辞書を忘れてグループに貢献できなかった事で、辞書の大切さを知った旨の記述がゴールセッティングシートにみられた。	

日 程	授 業 中 の 活 動	学 生 の 反 応	運 営 上 の 改 善 点
11 月 6 日	同 上	グループ内での役割分担の大切さに気付いた旨の記述がゴールセッティングシートにみられた。	
11 月 13 日	同 上	グループ内での役割を自主的に定め、それを達成した喜びを感じた旨の記述がゴールセッティングシートにみられた。	
11 月 20 日	同 上	グループで難問に挑む楽しさを感じた旨の記述がゴールセッティングシートにみられた。	
11 月 27 日	〈 特別企画 〉 ワクワク・トーク、ゴールセッティングシート、「最近気になっていること」についての意見交換	クラスの雰囲気がすでに醸成されているうえに、この時期、学生が最も気にしていることなので、活発な意見交換ができ、満足した様子が見えた。	学科選択・ゼミ選択の時期になり、学生の気持ちがそちらの方に向いてしまっているため予定を変更した。
12 月 4 日	〈 ステージ 3 〉 ワクワク・トーク、ゴールセッティングシート、中間自己評価、経営学でよく使われる英単語の日本語訳	〈 ステージ 3 〉に進む。意欲的に取り組めなかった反省から、うすれた意欲を高めるための方法を考えようという記述がゴールセッティングシートにみられた。	
12 月 11 日	〈 ステージ 3 〉 ワクワク・トーク、ゴールセッティングシート、経営学でよく使われる英単語の日本語訳	英和辞書と和英辞書とを併用しながら翻訳を進めるなど、辞書の使い方が分かった旨の記述がゴールセッティングシートにみられた。	
12 月 18 日	同 上	着実に英語力がついているのが実感できるという記述がゴールセッティングシートにみられた。	
1 月 8 日	同 上	求められているのは日本語として自然な文章だということに気づいた旨の記述がゴールセッティングシートにみられた。	
1 月 15 日	同 上	来学期から始まるゼミでも同様に積極的に取り組もうという記述がゴールセッティングシートにみられた。	
1 月 22 日	ワクワク・トーク、事後振り返り、事後自己評価	1 学期間の振り返りで、学習意欲が向上し、人間的に成長した旨の下記のような記述があった。 ・英語力がついたので、今後は、英字新聞に取り組んでみたい。 ・チームワークを通して、成長が実感できた。	